

## 大阪千代田短期大学 障害のある学生への支援に関する基本方針

◆本方針は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成 25 年法律第 65 号)」と「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針(平成 27 年 12 月)」を受けて、大阪千代田短期大学における障害のある全ての学生に対する教職員の適切な支援について定めるものとする。

### ◆基本方針

①本学は、障害のある学生の学びの機会の確保に努めて、障害のない学生と等しい条件のもとで、同等の教育を受ける権利を実現できるよう支援を行うことを目指す。

②本学は、さまざまな学生や教職員等との係りを通じて共に学び、社会で自立して生きていける人材へと成長できるよう支援を行う。

③本学は、障害のある学生への支援を通じて、全ての学生の学びと成長に寄与する取り組みを実施する。

④支援内容の判断は、「障害者基本法」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に定める「合理的配慮」、文部科学省の「障害のある学生の修学支援に関する検討報告(第一次まとめ)」に定める基準・取り扱いを参考とする。

⑤成績・評価の公平性を担保する。障害にあわせて情報の伝達方法や支援の時間配分等に配慮し、不利益が生じないようにする。

⑥具体的な支援内容は、原則として受験時や入学時、学年開始時及び随時学生と行う面談の際、大学と本人(及び保護者)が十分な合意形成・共通理解を図った上で決定し、大学から提供するものとする。

⑦本学は、障害の有無に限らず、学生がキャンパスで学び合える施設・設備環境を目指す。

◆障害のある学生とは、心身の機能の障害があって、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある者とする。

2022 年 3 月 16 日施行

# 大阪千代田短期大学「障がいのある学生支援に関するガイドライン」

2025年4月2日

## 1. 基本姿勢

大阪千代田短期大学（以下「本学」という）は、「文部科省所管事業分野における障がいを理由とする差別の解消の促進に関する対応指針」に基づき、就学支援、学生生活支援、学生生活支援、キャリア支援など適切な支援を受けることができるよう努めます。これにより、本学に在籍するすべての学生が障がいの有無に関わらず、公平に教育・研究に参加できる環境を整備するとともに障がいのある学生に対する不当な差別の解消に取り組みます。

## 2. 支援の範囲

支援の範囲は、入学に関する事項、入学から卒までの修学に関する事項、就職・進路に関する事項とします。

## 3. 支援体制

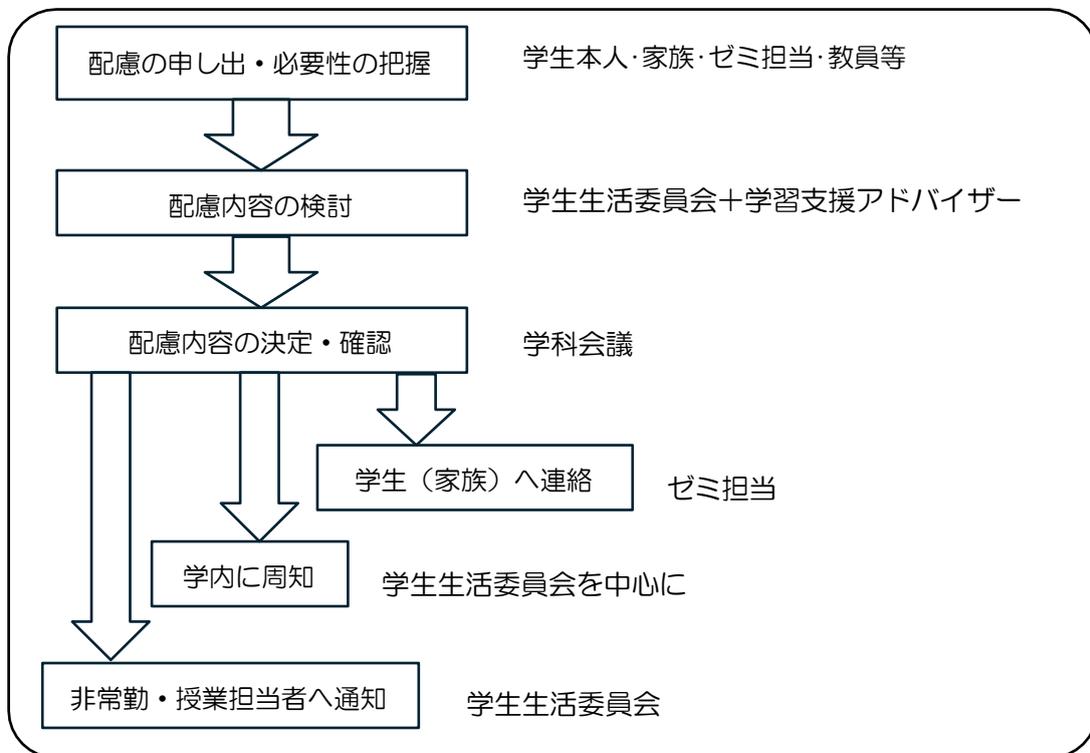
教職共同体制で支援を行うため、入学前は入学支援委員会、入学後は学生生活支援委員会が相談窓口となります。支援内容は学習支援アドバイザーのアドバイスを受けた上で、学科会議で協議し、決定します。また、必要に応じて学外の支援機関との協力、連携を推進します。

## 4. 支援内容

本学学生から障がいによる就学等の困難に対して、合理的配慮の申請があった場合、大学はできる限りの合理的配慮の提供に努めます。同時に合理的配慮の提供においては、権利主体は学生であることを踏まえ、学生本人の意思を尊重した支援を行います。

具体的な支援内容は①入学試験に関わる支援、②修学に関する支援、③学生生活の支援、④進路・就職の支援となります。ただし、学生本人との意思疎通を重視しながら、4項目に限らず、可能な支援を行います。

## 5. 決定の過程



## 6. 附則

本ガイドラインは 2025 年4月2日から実施する